



「新都心」輝く

さいたま市中央区のさいたま新都心周辺を彩る恒例のイルミネーションが30日、始まった。写真。点灯は来年2月14日までの午後5時～午前0時。

11回目を迎える今年は、「希望の宿る星くず森」がテーマ。昨年より10万球多い30万個のLED（発光ダイオード）が彩りを演出している。

この日は、台風14号の影響で、さいたまスーパーアリーナ内での点灯式となっ

たが、「第5回ジャズボーカルコンテスト」も行われ、来場者がジャズの調べに耳を傾けていた。

また、今年は、乳がん検診の早期受診などを啓発するピンクリボン運動も展開され、戸田中央看護専門学校（校の学生約30人）がパンフレットを配布したほか、乳房触診の体験なども行われた。

乳がん検診の 大切さ呼び掛け

戸田中央総合病院

「やいたま新都心 JAZZ VOCAL CONTEST」の開演前に協賛の戸田中央総合病院は、ピンクリボン運動の啓蒙活動をスーパードリーナ展示会場でを行った。

活動には、戸田中央看護専門学校が31人がさいたま新都心駅周辺で乳がん撲滅を訴えたほか、会場内の特設ブースには乳がんを分かりやすく説明した



ステージ上で乳がん検診の大切さを訴える戸田中央総合病院の広瀬晶子さんと戸田中央看護専門学校「の学生たち」さいたまスーパードリーナ展示場

パネル展示や乳がんのしこりを触って体験できる乳房疑似体験コーナーを設置。ステージ上では、ピンクの衣装で看護学生と同病院の男子漕艇部が、会場を埋め尽くした来場者に「あなたの命を守りたい。LET'S 乳がん検診」と検診の大切さを呼び掛けた。

同病院で運動の中心の広瀬晶子さんは「乳がんは日本人女性が一番かかりやすいがんだが、早期発見で90%治る。乳がん検診を受けることが大人の常識となることを願って、これからも啓発を続けていきたい」と話していた。
(土沢貴弘)

東京新聞 ショッパー

さいたま浦和・川口

2010 11/18 (木)

毎週木曜日発行 無料 Vol.939



①

さいたま新都心で
2つのイベント

タ
ス
ナ
ツ
プ

さいたま新都心周辺を彩るイルミネーションが10月30日からスタート。同日点

灯式に併せて、さいたまアリーナ、サムライ主催による「第5回ジャズボーカルコンテスト」が開催されました(写真①)。本来はけやきひろばで行われるイベントも、荒天のため急ぎよさいたまスーパーアリーナ内に変更。イルミネーションに包まれたステージとはなりましたが、グランプリをかけた出場者がそれぞれ熱唱。集まった音楽ファンもジャズなひととき、に酔いしれていました。

また当日は、24日にピンクリボンウォークを実施した戸田中央医科グループ(電048・442・6418)が、昨年引き続き会場内に「乳がん検診啓発ブース」を設置。戸田中央看護専門学校生約30人による健診の呼び掛け(写真②)や、乳がんについて理解を深めてもらえるよう、パンフレットの配布を行いました。



②